令和８年度 はとり中学校 学校努力点

「一人一人が光る　楽しい授業」

～生成 AI・ICT の活用 と 関わりの力の育成 による自律的な学び～

目　標　「学習意欲の向上」から始まる自律的な学びの好循環をつくる

学習意欲の向上 → 学習時間の増加 → 学習成果の向上

手立て

① 個別最適な学びを支える生成AIやICTの活用

「ナゴヤ学びのコンパス」の理念のもと、生徒一人一人の状況に合わせた指導、協働的・対話的な活動を行う。生成 AI やＩＣＴを活用し、一人一人の学力や進み具合に沿った課題を提示。

例１　**教員自作ドリル（Web アプリ）**
全体の問題演習を解いた後などに取り組む。生徒の教科への自信度・理解度を選択する形式をとり、習熟度に応じた課題に取り組むことができる。

例２　**インフォグラフィック・スライド資料・クイズ作成**
教師が作った学習プリントから、インフォグラフィック・スライド資料・クイズ作成などをつくる。これらを、授業で活用する。

例３　**自主学習支援 Web アプリ：ドリルパーク（ミライシード）の活用**
生徒のタブレットにある「ドリルパーク（ミライシード）を使い、自主学習の支援だけではなく、家庭学習に活用する。

②「はとりんタイム」で関わりの力の育成

多くの人と対話をする経験を通して、人と上手く関わる力を伸ばす。また授業での対話活動（話し合い）にも生かせるようにする。

⑴朝の会の時間に行う（原則毎日行う）。
⑵２～４人のグループで「話す・聴く」の対話エクササイズを行う。
⑶ルール　①指示をしっかり聴く　②挨拶をする「お願いします」「ありがとうございます」
③うなずきながら話を聴く④見渡しながら、話をする

Ａ：ペアコミ　座席の隣同士で、簡単なテーマに関する考えを伝え合うエクササイズ
テーマ例：「あなたが好きなお菓子は何？」、「宝くじがあたったら何をする？」

Ｂ：ニ者択一　近くの座席の４人組で、二択のテーマに対する考えを伝え合うエクササイズ
テーマ例：「旅行に行くなら国内か？海外か？」、「朝ごはんはパン派か？ごはん派か？」